

第 30 回(平成 22 年度第 1 回) ISO/SR 幹事会 議事録

1. 開催日時 : 平成 22 年 5 月 11 日 (火) 16:30~18:30

2. 開催場所 : (財) 日本規格協会 本部ビル 4 階 第 1 会議室

3. 出席者 : 【敬称略・五十音順】 出席者(○)、欠席者(×)

委員: 松本 恒雄(一橋大大学院)○、足達 英一郎(日本総合研究所)○、稲岡 稔(ゼブン&アイ・ホールディングス)×、井上 悟志(経産省)×、逢見 直人(連合)×、長見 万里野(消費者協会)×、熊谷 謙一(国際労働財団)○、黒田 かをり(CSO ネットワーク)○、斎藤 仁(経団連)○、佐野 真理子(主婦連合会)○、関 正雄(損保ジャパン)○、田和 宏(内閣府)△(代理: 川島)、富田 秀実(ソニー)×、仲田 賢(連合)○、水谷 綾(大阪ボランティア協会)×

関係者: 濱坂 隆(経産省)×、宮澤 武明(経産省)○、佐藤 洋△(代理: 義澤)、小堀 紀子○(以上三菱総研)

オブザーバ: 網野 直英(経団連)、堀江 良彰(難民を助ける会)

事務局: 岡本 裕○、佐藤 恭子○(以上 JSA 記)

4. 議事次第:

- (1) 議事及び資料の確認
- (2) IDTF ケープタウン会議の報告
- (3) CAG ケープタウン会議の報告
- (4) コペンハーゲン総会への対応について (意見交換)
- (5) 今後のスケジュールの確認

5. 資料:

- WG I -30-1 平成 22 年度 ISO/SR 幹事会委員会 名簿 (案)
- WG I -30-2 平成 22 年度事業計画 (ご参考)
- WG I -30-3 ISOSR・IDTF 会議報告【熊谷委員】
- WG I -30-4 第 23 回 ISO/SR CAG 会議報告【富田委員】
- WG I -30-5 DIS 日本コメントの IDTF による分析結果

- WG I -30-6 ISO/TMB/WG SR – IDTF N111 – Copenhagen Key Topics Discussion Document
- WG I -30-7 ISO 26000 (Bracketed Working Draft) IDTF_N112
- WG I -30-8 ISO/TMB/WG on SR 第 8 回コペンハーゲン総会代表団構成 (案)
- WG I -30-9 コペンハーゲン総会報告分担 (案)
- WG I -30-10 今後のスケジュール (案)
- WG I -30-11 FDIS コメント・投票の提出の手続きに関する細則 (案)

参考資料：

- 参考資料 1 Meeting schedule – WG Social Responsibility (N182)
- 参考資料 2 N 183, Report of the secretariat
- 参考資料 3 N 184, Draft agenda Copenhagen 17-21 May 2010
- 参考資料 4 2010-04-28 WG SR Leadership Statement
- 参考資料 5 DIS26000 投票結果
- 参考資料 6 ISO 26000/DIS に対する主要国とステークホルダーの主なコメント

6. 議事概要：

6. 1 議事及び資料の確認

事務局から、議事及び資料の確認が行われ、議題は異議なく了承された。

また、幹事会規約第 7 条 2 項の成立条件に照らして、今回の幹事会がその条件を満たすことを報告し、幹事会の成立を確認した。

次に、今年度から内閣府の田和宏政策統括官付参事官が政府エキスパートとして ISO/SR 幹事会に参加することになったことが紹介された。また、経団連の網野氏、難民を助ける会の堀江氏の 2 名のオブザーバ参加について紹介があり、全会一致で了承された。

続いて、資料 WGI-30-2 にしたがって、事務局から平成 22 年度の事業計画について説明があった。SR 事例 WG に関しては、昨年度は三菱総合研究所が事務局を担当していたが、今年度から事務局を（財）日本規格協会が行うことになったことと、内容面では昨年度と同様に（株）三菱総合研究所との共同で実施していくとの説明があった。

6. 2 IDFT ケープタウン会議の報告

資料 WGI-30-3 にしたがって、熊谷委員から 3 月に開催された IDTF ケープタウン会議

の報告が行われた。

続いて、WGI-30-5 にしたがって、日本コメントに対する IDTF の取扱いに関する分析結果について説明があった。

6. 3 CAG ケープタウン会議の報告

資料 WGI-30-4 にしたがって、熊谷委員から 3 月に開催された CAG ケープタウン会議の報告が行われた。

<意見交換>

- ・ 発行後の活動のための資金を確保する必要があるのではないか。

6. 4 コペンハーゲン総会への対応について（意見交換）

資料 WGI-30-8 にしたがって、事務局からコペンハーゲン総会代表団構成について確認が行われた。現在、政府オブザーバとして登録されている宮澤氏は、急遽、今回の総会に限って政府エキスパートとして参加することが確認された。

続いて、資料 WGI-30-9 にしたがって、事務局からコペンハーゲン総会の報告分担案について説明があり、了承された。

6. 5 今後のスケジュールの確認

資料 WGI-30-10 及び 11 にしたがって、今後のスケジュール及び FDIS 投票の検討プロセス案について事務局から説明があった。FDIS 投票は、お盆の時期を挟むことから、スケジュールリングを確実に行ってほしいとの意見があった。

次回は、6 月 17 日（木）13:30～16:00 に開催することが確認された。6 月 30 日（水）午後に予定している ISO/SR 国内委員会のための事前調整を行う。

以 上